

令和3年2月21日

## 関係各位

(一社) 日本実装技術振興協会  
定例講演会  
会長 嶋田 勇三

### 第207回定例講演会のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のことお慶び申し上げます。  
さて、日本実装技術振興協会の第207回定例講演会の内容が決まりましたのでお知らせいたします。  
今回も新型コロナウイルス対策のため、WEB会議システム（zoom ウェビナー）を利用した開催となります。  
会場開催での定例講演会と申込内容や開催形式が異なりますので、ご確認いただけますようお願いいたします。  
ご多忙の中恐縮でございますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。  
ホームページやFacebookでも同定例講演会の情報を配信します。

敬具

#### 記

- 開催日時：令和3年3月18日（木）定例講演会 13：20～16：45（受付 13：00～）
- 開催方式：WEB会議システム「zoom ウェビナー」  
（参加申し込みをされた方に後日、招待メールをお送りします）
- プログラム：“ポスト 5G/6G に向けた動きと実装技術”

13：20～14：05 プログラムテーマ①	『ポスト 5G と先端半導体技術開発に向けた動き』 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長補佐 千田 和也 氏 講演内容：超低遅延や多数同時接続といった機能が強化された 5G（以下、「ポスト 5G」）は、今後、工場や自動車といった多様な産業用途への活用が見込まれており、我が国の競争力の核となり得る技術と期待されている。ポスト 5G に対応した情報通信システムの中核となる技術の 1 つが先端的な半導体であり、また半導体はビッグデータ、AI、IoT、DX 等のデジタル社会を支える重要基盤であることから、経済安全保障への対応の観点からも当該半導体を製造できる技術を将来的に国内で確保することは極めて重要となる。本講演では、ポスト 5G 情報通信システム及び先端半導体の開発に関する動向について紹介する。
14：05～14：50 プログラムテーマ②	『次世代通信 6G に向けたアイオーコア社の取り組み』 アイオーコア（株）CTO 藏田 和彦 氏 講演内容：同社は 2017 年に設立された、シリコンフォトニクス技術をコアにしたファブレスの光トランシーバ会社である。光 I/O コアと呼ぶ超小型の光トランシーバの開発、販売を行っており、現在は主にコンピューティングの応用分野へ 100Gbps 光 I/O コアの製品を販売している。高温動作、高信頼性の特徴を活かし、より高速高密度の次世代製品の開発も開始している。本講演では、同社の製品の紹介及び次期光 I/O コアの取り組みについて紹介する。
14：50～15：05	－ 休憩 －
15：05～15：35 企業紹介	『6G と有機材料 ～特許情報から次世代研究開発を探る～』 （株）ネオテクノロジー 取締役 橋本 小百合 氏 講演内容：2020 年に日本では 5G の本格商用サービスが始まった。その一方で、研究開発の世界では 6G に向けた取り組みが始まっている。300GHz 以上の周波数が用いられる 6G では、関連するデバイスや材料技術の大幅な革新が求められる。電線を伝わっていた電気信号は、導波路に伝わる電波（電磁波）信号になり、テラヘルツ光へと広がっていく。電気と光が融合する大きな技術革新と言えるだろう。 このような技術革新は特許情報に表れる。特許情報は、最新の技術と企業の動きをキャッチして研究開発を推進するための“技術と特許の羅針盤”として役立つ。技術革新は徐々

	<p>に進むものであり、ある日突然に変化する訳ではない。しかし、一つ一つの工夫や改良の積み重ねが、特許情報という媒体にグラデーションのように投影される。全世界の産業技術情報が集積された特許情報は、R&amp;D 企画や新事業創出にとって有用な情報源となる。本講演では、特許情報から見た 6G と有機材料の関わりを俯瞰するとともに、次世代研究開発を特許情報から見る特許情報の活用について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6G (サブ THz~THz) における有機材料に求められる機能</li> <li>・ 次世代研究開発のための“技術と特許の羅針盤”としての特許情報の活用</li> </ul>
<p>15 : 35~16 : 05 プログラムテーマ③-1</p>	<p>『Beyond-5G/6G の実現に必要とされる材料・製造技術と計測技術』 国立研究開発法人産業技術総合研究所 物理計測標準研究部門 電磁気計測研究グループ長 堀部 雅弘 氏</p> <p>講演内容 : 6G の技術仕様について説明し、特に必要とされる 100GHz を超えるミリ波帯の材料・製造および計測技術について解説し、6G ロードマップを基にした必要技術の解説とウェアラブルデバイスや回路の計測技術、および回路・アンテナ設計に不可欠な材料計測とメタマテリアル技術の同研究所技術を中心に最新動向を説明する。</p>
<p>16 : 05~16 : 35 プログラムテーマ③-2</p>	<p>『Beyond-5G/6G 対応の材料設計に向けた誘電率・導電率計測技術』 国立研究開発法人産業技術総合研究所 物理計測標準研究部門 電磁気計測研究グループ 主任研究員 加藤 悠人 氏</p> <p>講演内容 : Beyond-5G/6G では 100 GHz 超の電磁波の利用が見込まれ、それに対応した材料やプロセス技術の開発が必要とされる。本講演では、Beyond-5G/6G 対応材料の設計に向けた 100GHz 超での誘電率・導電率計測技術について、同研究所の技術を中心に説明する。</p>
<p>16 : 35~16 : 45</p>	<p>『トークセッション』 講師の皆様と参加者の皆様とで、意見交換を行う時間を設けます。</p>

4. **参加費：無料。**企業正会員は1社3名まで（この場合は日本実装技術振興協会の会員が対象になります）。ただし、zoom ウェビナーのシステム上 100 名限定のため、これを超える場合は2名までとさせていただきます。ご了承ください。

5. **参加申し込み：**ご出欠については、同送致しましたご出欠連絡用紙にご記入の上、E-mail にて **令和3年3月10（水）迄**にお申し込みいただけますようお願いいたします。

講演2日前までに、ご参加者各人に招待メールをお送りしますので、ご参加者全員の氏名・メールアドレスをご連絡ください。また、zoom ウェビナーに参加される際には、ご連絡いただきましたメールアドレス・参加者氏名でログインするようにお願いいたします。セキュリティの関係上、名簿と合致しない場合、zoom 定例講演会から退場していただく場合がございます。参加者が変更する場合はご連絡ください。

※講演資料は、個人会員と、企業正会員は登録代表者（連絡担当者）に講演日1週間前に郵便で発送させていただきます。

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さいますようお願い致します。

事務局：一般社団法人 日本実装技術振興協会事務局 担当/相良(サガラ)・太田  
携帯：090-5403-1147 (相良)、090-5301-9467 (太田)  
E-mail: j.jisso.org@gmail.com  
URL : http://www.j-jisso.org/index.html